

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
16131	日本・東洋音楽史概論	2単位 前期	1～2	講義	高瀬 澄子

## ■テーマ 日本とアジアの伝統音楽

### ■授業の概要

日本の伝統音楽については、各種目の成立時代順に概観する。アジアの伝統音楽については、地域ごとに概観する。

### ■到達目標

- ・日本の伝統音楽の各種目について、その特色と歴史的背景を理解していること。
- ・アジアの各地域の伝統音楽について、その特色と文化的背景を理解していること。
- ・日本とアジアの伝統音楽について、主体的関心を持つこと。
- ・理解したことや感じたことを、文章によって適切に他者に説明できること。

### ■授業計画・方法

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. オリエンテーション（授業の目的と対象について） | 9. アジアの伝統音楽2（東南アジア：インドネシア） |
| 2. 日本の伝統音楽1（雅楽）            | 10. アジアの伝統音楽3（南アジア：インド）    |
| 3. 日本の伝統音楽2（能楽）            | 11. アジアの伝統音楽4（西アジア：トルコ）    |
| 4. 日本の伝統音楽3（地歌・箏曲・尺八楽）     | 12. アジアの伝統音楽5（中央ユーラシア）     |
| 5. 日本の伝統音楽4（人形浄瑠璃）         | 13. 日本の伝統音楽7（沖縄・アイヌ）       |
| 6. 日本の伝統音楽5（歌舞伎）           | 14. 日本の伝統音楽8（近代・現代）        |
| 7. 日本の伝統音楽6（民謡・民俗芸能）       | 15. 日本とアジアの伝統音楽に関する総括      |
| 8. アジアの伝統音楽1（東アジア：中国）      | および定期試験                    |

### ■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・平成29年度以前入学者の履修科目である。
- ・毎回の授業で、前回の授業の内容を問う小テストを行うので、前回の授業について復習しておくこと。
- ・試験の詳細については授業中に予告するので、各自、参考資料を探し、準備しておくこと。

### ■成績評価の方法・基準

#### □方法

- ・平常点（20%）、定期試験（80%）。
- ・平常点は、小テストの提出状況について評価する。定期試験は、解答式と論述式を併用し、伝統音楽の時代と地域に関する基本的理解、主体的関心、文章構成力等について総合的に評価する。

#### □基準

到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

### ■教科書・参考文献（資料）等

□教科書：適宜プリントを配布する。

□テキスト：適宜プリントを配布する。

#### □参考文献

月溪恒子『日本音楽との出会い 日本音楽の歴史と理論』東京堂出版、2010年。

柘植元一・植村幸生編『アジア音楽史』音楽之友社、1996年。